

# レファレンスだより 2022年1月号 No.230

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

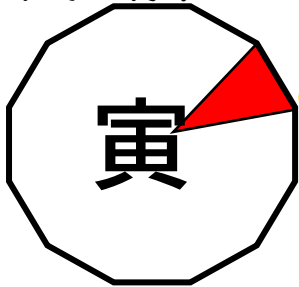
## ■レファレンス受付件数 (2021年10月分)

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
68	1284	413	348	322
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
320	33	693	816	4297

(開館日27日 一日平均159件)

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

## 今月の特集!



あけましておめでとうございます!

新しい歳を迎えましたが、みなさまお正月はいかがお過ごしでしたか? 今年もみなさまのますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

「ものごとを深く関心をもって見つめることは、元気の素!」と日頃のみなさまのご様子から感じています。今年も微力ながら、探求するお手伝いをさせていただき、謎が解けた時の笑顔がたくさん花開くところを拝見できる一年でありますように!

さて、今年は寅年!そこで歳の初めてである今月は、寅(虎)に関することわざでカルタあそびをしてみたいと思います。太枠の①②③のカードと点線枠の④⑤⑥カードを正しく結びつけてください。答え合わせは3頁の一番下をみてくださいね!

① 虎の子渡し

② 虎うそぶけば  
風騒ぐ

③ 家計などの苦しいやりに繰り算段のたとえ。

④ 英雄が世に出現すると、  
天下に風雲が起ころうというたとえ。

⑤ はなはだ危険なことをおかしこと  
のたとえ。

⑥ 虎の  
尾を踏む

⑦ 虎を描き  
て猫に類す

⑧ もともと強いものが  
さらに威力をもつこと  
のたとえ。

⑨ 能力のない者が人真似  
をして失敗すること  
か、物事をやりそこなう  
ことのたとえ。

⑩ 力のない弱いものが  
強い者の権威をかさに  
着て、尊大な態度をと  
ったり、威張り散らす  
ことのたとえ。

⑪ 虎の  
威を借る狐

⑫ 虎に翼



参考資料:『図説ことわざ事典』時田 昌瑞/著 東京書籍

\*十二支における寅(虎)についてどんな動物かもう少し知りたいという方に下記の本をご紹介します!

『十二支の動物たち』(石島芳郎/著 東京農大出版会 2006年) 2階E8 480.4/1

『十二支動物の話』(井本英一/著 法政大学出版局 1999年) 2階D19 388/1

『干支の動物誌』(阿部 禎/著 技報堂出版 1994年) 2階E8 480.4/7

質問：立原道造が建築について書いた論文があると聞いた。読んでみたい。



回答：“滅びた後も、廃墟になっても、美しいものを建てたい”というような内容だったと思う のこと。

下記の①～④より、お探しの論文は立原道造の『方法論』であると推測される。

②に所収されている。



### 調査に利用した図書館資料

- ① 『日本近代詩鑑賞 昭和編』（吉田精一／著 創拓社 1990年） 2階B21 911.52/3  
「立原は、…建築学を専攻したが、その卒業論文にははじめ「廃墟」を書こうとしたという。（実際提出されたのは「方法論」だった。）」（p.251）とあり、山岸外史と立原が廃墟と建築について語る場面が「四季」（昭和十四年四月）より、引用（「…どんな建築でも、結局、廃墟になる。…だから…この廃墟になった結果まで考へて、建築を考へなければいけないと思ふのです。と答へた。」）（p.252）されている。
- ② 『立原道造全集 第4巻 評論・ノート・翻訳』（立原道造／著 角川書店 1979年） 2階B23 918.68/夕  
p.34～98「方法論」 第五章 のなかで「…私たちは、廃墟が完璧以上の力で私たちを引きつけること、…そこに廃墟のまさに崩れかける瞬間が美しさであると、説くジムメルの考察にも耳を傾けた。…」（p.91）とある。
- ③ 『立原道造の文学：『解釈』所収論文集（シリーズ文学） 3』（解釈学会／編 教育出版センター 1975年） 閉架書庫 910.2/夕  
p.73～ 杉本春生「「愛する」ことの挫折 ―晩年のノート・書翰から―」
- ④ 『立原道造の生涯と作品 増訂新版』（田中清光／[著] 麦書房 1977年） 閉架書庫 910.2/夕  
p.60～62「I 10 建築家」  
p.160～164「II 6「方法論」」「方法論」からの引用のあとに「こうして道造は、「廃墟」を想定した上に成立する建築を自らにえがく。…」（p.162）と続く。

質問：日本の三大八幡宮とはどこか。



回答：以下のような資料があります。

・「宇佐神宮（大分県）」「石清水八幡宮（京都府）」「筥崎八幡宮（福岡県）」とする資料。

- ① 『名数数詞辞典』（森 睦彦／編 東京堂出版 1980年） 2階C9 R031.5/夕  
p150「三八幡（さんばちまん）」
- ② 『日本社寺大観 神社篇』（藤本 弘三郎／編 名著刊行会 1970年） 2階C9 R175.9/ニ  
p534「筥崎宮」
- ③ 『知識ゼロからの神社と祭り入門』（瓜生 中／著 幻冬舎 2003年） 1階ポ70 175/ウ  
p241「筥崎宮（はこざきぐう）」
- ④ 『神社の解剖図鑑 [1] 日本各地の神様とご利益がマルわかり』（エクスナレッジ 2016年） 1階ポ70 175.9/3  
p106-107「仏教と関わる八幡信仰」



・上記以外の説も紹介されている資料。

- ⑤ 『事典・日本の観光資源 : ○○選と呼ばれる名所 15000』（日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2008年） 2階C11 R291.03/ジ  
p501「日本三大八幡」の項目に、「三八幡ともいう。石清水八幡は歴代朝廷の崇敬を集め、伊勢神宮・賀茂二社とともに三社のひとつに数えられる。宇佐八幡は全国八幡宮の総本社。筥崎八幡宮に代えて鎌倉の鶴岡八幡宮を加える説もある。」と記載されている。



質問：感染症の歴史がわかる本が読みたい。



回答：以下のような資料があります。

- ① 『人類と感染症、共存の世紀 : 疫学者が語るペスト、狂犬病から鳥インフル、コロナまで』  
(デイビッド・ウォルトナー=テーブズ/著 片岡 夏実/訳 築地書館 2021年)  
2階E9 493.8/ウ
- ② 『グローバル時代のウイルス感染症』(西條 政幸/編著 日本医事新報社 2019年)  
2階E9 493.87/サ
- ③ 『感染症と法の社会史 病がつくる社会』(西迫 大祐/著 新曜社 東京 2018年)  
2階E10 498.6/ニ
- ④ 『人類と感染症の歴史 未知なる恐怖を超えて』(加藤 茂孝/著 丸善出版 2013年)  
2階E9 493.8/カ
- ⑤ 『日本における伝染病との闘いの歴史』(菅又 昌実/編著 みみずく舎 2010年)  
閉架書庫 498.6/ス
- ⑥ 『感染症とどう闘うか(科学のとびら)45』(清水 文七/著 東京化学同人 2004年)  
2階E9 493.8/シ



質問：和紙の特性や作り方を英語で説明している資料(国際)



回答：以下のような資料があります。



- ① 『和紙：和紙ってなに？ What's washi?』(小津和紙編纂室/編著 朝日出版社 2020年)  
2階A20 F100ENG/585.6/WH  
和紙の特性、できるまでの工程、歴史などを漫画やイラストでわかりやすく紹介。英文併記
- ② 『Handbook on the art of washi』  
([All Japan Handmade Washi Association] Wagami-do 1991年)2階A20 F100ENG/585.6/HA  
手作りの和紙の特性や洋紙との違い、作り方や染料についてや用途など和紙の魅力がわかる本
- ③ 『紙と漆：伝統と復活 Washi and urushi』(喜多 俊之/著 六耀社 1999年)  
2階A20 F100ENG/752/KI  
日本ならではの和紙の文化を紹介。英文併記
- ④ 『ジャパニーズ・ペーパー・クラフティング』  
(Michael G. LaFosse・Richard L. Alexander/著 チャールズ・イー・タトル出版 2007年)  
2階A20 F100ENG/754.9/LA  
作り方が工程ごとの写真付きで詳しく紹介されている。

〈インターネット〉

★ユネスコ無形文化遺産のホームページ

Intangible Cultural Heritage UNESCO [https://ich.unesco.org/en/home] (英語)

和紙は 2014 年にユネスコの無形文化遺産に登録されている。検索ボックスに「Washi」と入れるか、List>Browse the List で登録年の 2014 年の所を見ると、和紙の説明を見ることができる。

1 頁-カルタの答え

①-② ③-⑤ ⑥-④ ⑦-⑥ ⑧-① ⑨-③



## 今月の一冊!

### 『労働経済白書 令和3年版 新型コロナウイルス感染症が雇用・労働に及ぼした影響』 (厚生労働省/編 日経印刷 2021年) 2階C16 R366.02/口/

令和3年7月に公表された「令和3年版労働経済の分析」を冊子にまとめたものです。令和2年版は発行されなかったため、分析は令和2年と3年の2年分を対象にしています。タイトル通り「新型コロナウイルス感染症が雇用・労働に及ぼした影響」を、データによって平時と比較しながら分析しています。

労働者数の動向では男女ともに非正規雇用者が大きく減少しましたが、特に女性が多かったこと、産業別雇用者にみると、宿泊業・飲食サービス業などで減少が大きかったことがわかります。また、リーマンショック時との比較分析も行われています。

本年版は特に新たなアンケート結果を用いた「テレワークを活用して働いた労働者の分析」が行われています。テレワークが定着している企業や労働者とテレワークを実施しなくなった企業や労働者との違いがアンケート結果のグラフによって表示されています。またテレワーク定着に向けた課題についてはデータをもとに様々な観点から分析されています。

「労働経済の分析」は厚生労働省のウェブサイトでも公開され無料で閲覧することができます。令和元年版より骨子を説明した動画版も youtube で視聴できますが、冊子のページをめくることによって、目的としていたデータ以外にも興味深い分析結果が見つかる場合があります。ぜひ一度手に取ってご覧ください。



## 総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人 文	福岡県の近現代	有馬 学/著	山川出版社	219.10/7/
	日本人の情報行動 2020	橋元 良明/編	東京大学出版会	007.3/ニ/
社 会	遊牧の人類史	松原 正毅/著	岩波書店	382.2/マ/
	アジア開発史	アジア開発銀行/著 澤田 康幸/監訳	勁草書房	332.2/ア/
自 然	てんかんの薬物療法	兼子 直/編著	新興医学出版社	493.74/カ/
	アーバンストリート・デザインガイド	全米都市交通担当者協会/著 松浦 健治郎/訳	学芸出版社	518.84/ア/



## 今月の展示 ~総合図書館2階 主題別(専門書)・国際・国連 展示のご案内~

毎月5つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》

**鎌倉時代**

《社会科学》

**祝いの文化**

《自然科学》

**みる**

《国際》

**世界の祝祭**

《1階 特設展示棚》

**本の福袋**

《国連》

**2022年国際年**